

会 議 録

会議の名称	洲本市新庁舎建設等市民検討委員会（第6回）
事務局	総務部総務課
開催日時	平成24年9月18日（火）13時59分から15時28分まで
開催場所	洲本市役所北庁舎第二会議室
出席者	出席委員20名 委員長 加賀 有津子委員 副委員長 平木 勝昭委員 委員 土井 敏雄委員 豊島 あゆみ委員 菖蒲 まゆみ委員 西田 八重子委員 柴田 拓二委員 角田 学委員 坂本 剛一委員 伏見 正夫委員 鬼本 英太郎委員 古匠 輝年委員 栄 宏之委員 長手 康祐委員 岡田 清隆委員 米澤 里実委員 上原 精農委員 西田 直史委員 船越 武委員 檜脇 敦則委員 市長 竹内 通弘 事務局 総務部長 上崎 勝規 総務課長 河合 隆弘 総務課総務係長 中山 成章 総務課主任 光宮 智章 業務支援者（パシフィックコンサルタンツ（株）） 蜂谷 浩 濱口 理恵
欠席者	委員2名 委員 三澤 泰士委員、惣田 未央委員
公開の可否	非公開
会議次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 市長あいさつ 4 洲本市新庁舎整備等基本計画策定に関するパブリックコメントの実施結果と意見に対する市の考え方について 5 洲本市新庁舎整備等基本計画について 6 その他 7 閉会
発言内容 （発言要旨）	別紙のとおり
配布資料	①洲本市新庁舎整備等基本計画策定に関するパブリックコメントの実施結果と意見に対する市の考え方について ②洲本市新庁舎整備等基本計画について ③新庁舎建設等市民検討委員会（第6回）の進め方について

洲本市新庁舎建設等市民検討委員会（第6回）会議録

日 時：平成24年9月18日（火） 13時59分から15時28分

場 所：洲本市役所北庁舎第二会議室

1 開会

開会

2 委員長あいさつ

（委員長）

昨年11月からこの検討委員会が始まりまして、今回第6回目を迎えて、いよいよ本日が最終回となります。

本日の委員会では、先般実施されました基本計画に係るパブリックコメントの実施結果の報告と、それを踏まえて市で策定しました基本計画について報告を受けることとなっております。よろしくお願ひいたします。

3 市長あいさつ

（市長）

昨年11月の第1回市民検討委員会の立ち上げから本日の第6回までの期間中、活発な議論のもと素晴らしいご意見や斬新なご提案をいただき、誠に有難うございました。

おかげをもちまして、当初の目的であります新庁舎整備等基本計画を何とか策定できたと思います。

ここに皆様にご報告できますことを感謝申し上げます。

後程、パブリックコメントの実施結果と併せてご報告があるかと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

●配布資料の確認後、要綱第6条第1項の規定により、今後の議事進行を委員長に委ねる。

4 洲本市新庁舎整備等基本計画策定に関するパブリックコメントの実施結果と意見に対する市の考え方について

5 洲本市新庁舎整備等基本計画について

●委員長より本日の委員会の議事進行方法についての説明がされ、各委員の了承を得る。

（事務局）

●配布資料に基づき、下記事項について説明を行う。

- ・パブリックコメントを実施した結果、いただいた意見の多くは既に基本計画（素案）に盛り込まれている内容であったこと、また、加筆修正して計画に反映させる意見がなかったため、素案の修正等を行わないこと
- ・基本計画へ市民検討委員会の検討経緯と委員名簿を追加したこと

- ・基本計画の公表時期は9月下旬を予定していること

●説明に対して各委員からの質問・意見等はなし

6 その他

(委員長)

今回、市の方で基本計画の取りまとめが行われたことで、当委員会は役目を終えることになります。

当委員会を閉じるに当たりまして、委員の皆様より一言ずつ「委員会へ参加いただいた感想や新庁舎への想い」など、ご発言をお願い出来ればと思います。

副委員長から順にお願いしてよろしいでしょうか。

(副委員長)

委員会の皆様方の貴重なご意見、ご提案により前進できたのではないかと思います。

新庁舎への想いは、市民の多くの皆様が良かったなど、自慢できるような新庁舎に出来上がる事を期待しています。

(委員)

洲本市に50年ぶりに新庁舎ということですので、将来の淡路一市を見据えそれに対応できるような庁舎、十分なキャパシティをもった庁舎を、また淡路島のシンボルとなるような庁舎を作っていただきたいと思います。

(委員)

最初から玄関の位置に拘っており、今も表玄関は主要な道路に面した方がいいと思います。

議場についても今までのような造りが必要かどうかをよく考える必要があると思います。

パブリックコメントの件数が少なかったのは、市民に関心がないのか、市がすることは最初から決まっているので意見を出しても何も反映されない、という風にとられたかも分からないので、今後の検討課題かと思いました。

新庁舎は、今は市街地の人口が一番多いので、この場所にという事だと思いますが、他市では新婚家庭への家賃補助制度等があり、洲本市から若い人たちが転出しているような話も聞きます。

今の時点で一市になった場合には、洲本市に本庁舎をと言えるが、そういう状況が続く洲本の人口が減っていくことになれば、先々では言えなくなる可能性があるため、直接庁舎の建設には関係ないですが、若い人たちが定住し人口が増加するような施策の検討も必要かとも思いました。

市庁舎に対しては色々な意見があると思いますが、最終的に設計される方や建設される方がやさしい気持ち、思いやりの気持ちを持って携わってもらえれば、いいものが出来ると思います。

(委員)

設計段階になった時には、日々市民と接している職員の方達の意見も取り入れていただき、市民が市役所を利用し易いように考えてもらえればと思います。

(委員)

委員の皆さんの貴重な意見が反映された、また近代技術を取入れて素晴らしい洲本市のシン

ボルとなるような庁舎が完成する日を楽しみにしたいと思います。

(委員)

パブリックコメントは、もう少し意見が出てくるかなと思っていたので、少し残念な気がします。

新庁舎は、予算的にも無理のかからない、また維持管理も出来るだけメンテナンスが不要な庁舎を考えてほしいと思います。

新庁舎は市民の誇りになるとともに、利用し易い建物になればと思っています。

(委員)

地元の建築士も住民として新庁舎を見ていくことになるので、今後設計業務を行っていく際には、何らかの業務に携われるように検討してほしいと思います。

私見としては、現庁舎を登録文化財として残してほしい、観光の資源にはやはり歴史ある建物をもっと起用するというのが良いという風に考えています。

また、この位置に庁舎を建設するのであれば、他地域の住民がアクセスし易いということも重要なため、道路整備についても併せて検討してほしいと思います。

(委員)

今後は設計に向かって進むと思いますが、市民に開かれた、誰もが入りやすく、利用し易い、そして災害に強く十分な機能を備えた新庁舎の実現を期待しています。

また、ユニバーサルデザインやバリアフリーを取り入れ、障害者、高齢者への配慮もお願いします。

(委員)

私は第1回目の会議で、この計画を策定するにあたって市の人口想定を質問しました。

答えは45,000人という、希望的観測というか願望の入った数字だったと思います。

人口減少と高齢化が加速する時代に入っており、淡路島は全国の10～20年先を進んでいます。

高齢化が進むと、税収が減るどころか医療等の福祉関係に係る費用が増加していく、そういう状況下で庁舎を建設するのだから、予算面も十分に考える必要があり、身の丈にあった庁舎を作る必要があると思います。

また、パブリックコメントの10番の意見は貴重な意見なので、真摯に受け止めて検討してほしい。

(委員)

様々な意見が出て、皆様の思い入れが盛り込まれた基本計画が出来たと思います。

ただ、1期、2期と2つに分かれていますので、2期については今後色々な形でこれから議論をしていかないといけない、特に中心市街地活性化の施設については、今後の課題になるかと思っています。

(委員)

商業者は、県道の建設を見据えて既に動いており、掘端筋も出店が増えている状況です。

今回の計画は、庁舎を建てて終わりではなく、商業者としては2期が完成して初めて活性化への土台が出来るとしています。

活性化を図るためには、市内外から人が訪れる町にしていく必要があるため、早急に商業施

設を完成させる必要があると考えています。

市の方も同じ認識を持っていただき、2期エリアの計画についても何らかの組織を立ち上げ、商業施設の検討を早期に行えるように考えてほしい。

(委員)

職員の庁舎ではなく、市民のための庁舎を考えて建設をお願いします。

また、商業者にとっては非常に大変な時期であるため、商業活性化のためにも2期エリアも並行して検討してほしいと思います。

(委員)

パブリックコメントで色々な意見があるという事は大切な事かと思いますが、人口が48,000人位の市では、出来るだけ中心地に力を寄せるという事の方が理想かと思っています。

この中心地で庁舎が中心となり活性化ができるように、将来淡路が一市になるとときには、政治、文化、経済等の中心であるようにと思っています。

それには、行政に頼るばかりでなく、我々も参画していく必要があると思っています。

(委員)

こういう委員会を立ち上げる時には、若い人たちも声を上げられるような委員会を作っていくべきではないかなと思いました。

新庁舎への想いですが、20年位前と比べると、色々な影響があると思いますが年々人が減ってきているなどすごく感じています。

パブリックコメントの10番にも記載されていますが、建築費があまり膨らまないような努力をお願いしたいと思います。

(委員)

津波に対してどのような対応を組み込めるかということで色々意見をしました。

また、一時避難所の機能も持たせるということであれば、災害時に危険と思われる周辺の施設についても十分確認し、被害が最小限になるように必要な対策を立てる必要があると思います。

今後、設計を行っていく際には、都合の良い想定だけでなく不都合な真実までも想定に入れしっかりと考えていただきたいと思います。

そういうことを念頭に置き庁舎を建設することで、淡路が一市になった時には中核都市としての役割が果たせるのではないかと強く感じています。

そして、これからは省エネからさらに進んだ、どれだけ少ないエネルギーで施設を運営していくかということも重要であると考えています。

新庁舎はそのモデルにもなるように検討していただき、情報発信を行い色々な所から見に来てもらえるような庁舎の検討をお願いします。

なお、パブリックコメントの件数が少なかったのは、この会議が非公開であったことも一因ではないかと思うので、2期エリアの計画の際には、会議のあり方というものも考える必要があるかと思っています。

(委員)

堀端筋については、最近不動産の取引が増えてきたような気がします。

県病が建つということもあると思いますが、市役所の建替えも影響していると思います。

そういう状況の中で、商業者からの目線では計画が1期2期に分かれてしまったのは、非常に残念に感じています。

今後、この中心市街地を活性化させていくには、早急に2期について考えていく必要があると思います。

また、検討をしていく際には、訪れた方が滞在できるようなゾーン等についても併せて検討をしていただきたいと思います。

(委員)

基本計画の各項目には、各委員の様々な思いが込められているので、設計を行っていく際には、よく読み込んでいただいて、反映させてほしいと思います。

また、基本計画内には矛盾する意見もありますが、それらを飲み込みながら着地点を見つけしていくという作業になるかと思いますが、この部分についても併せてお願いしたいと思います。

また、役所という事務所ビルなので、効率化を図れる部分はしていただいていると思いますが、配置やデザイン、レイアウト等には「地域らしさ、洲本らしさ」を踏まえたものを「町のいわれ」と言われるものを取り入れてもらえればと思います。

そういうものを取り入れることで、市民も愛着が湧くと思うし観光資源にもつながると思うので、材料選定やデザインの中に一つでも“洲本だからこれを”というものを採用してもらえればと思います。

(委員)

参加者一人ひとりの考え、全員が洲本市の発展に努力し、機能的な良い建物を建てるという熱意が感じられました。

我々が提案した意見が設計段階で十分に採用され、立派な建物が出来ることを願っています。

(委員)

この基本計画は、まさに市民検討委員会という名のとおり、20名余りの市民の皆様が、事務局である市役所と一緒に作った成果であると思います。

建設はまだ少し先ですが、この参画を今後につなげ、市民が集うシティホールに相応しいものを建設していただければと思っています。

また、様々な資源を持ち、ホスピタリティ豊かな洲本市の核となる施設にしていきたいと思います。

(委員長)

大変貴重なご意見をいただきまして、本当に有難うございました。

最後に私の方から一言ご挨拶をさせていただきたいと思います。

皆様には、今年の11月から今回の第6回までの長期間にわたりまして、当委員会にご参画いただきまして、また非常に活発なご意見を頂戴しまして、本当に有難うございます、深くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、当委員会の当初の目的を無事達成するという事が出来ました。

この場をお借りしまして深く感謝の意を表したいと思います。

今後、市の方では、次のステップとなる設計、そして建築工事の段階へと入っていくことになる訳ですが、当基本計画がしっかりその場で咀嚼されて次に反映されることを強く期待しつ

つ、また市のシンボルとなるような素晴らしい新庁舎が建設されることを引続き見守ってまいりたいと思っています。

地元の委員の皆様には、どうか今回の機会を契機としまして、実はこれは市庁舎の計画だけではなく、市庁舎が核となった、これからの洲本市をどういう風に考えていくのか、今日もご意見がありました。淡路が一市になった場合の将来構想も想定された中でご意見をいただいたかと思えます。

これからも引続き、新庁舎建設事業にご支援ご協力をお願いしたいと思えます。

有難うございました。

(事務局)

委員の皆様には、昨年の11月から長期にわたりまして、当委員会にご参加いただき、熱心にご議論をいただきまして、本当に有難うございました。

事務局としては何分至らぬ点が多々あったかと思えますが、皆様からいただきました貴重なご意見につきましては、今後設計の中で十分反映させていきたいと考えています。

引続き、委員の皆様には、ご理解ご協力をお願いしたいと思えます。

本当に有難うございました。

(市長)

最後に一言ご挨拶させていただきます。委員の皆様には、長期にわたり、当検討委員会にご参画いただき、活発なご意見をいただきまして本当に有難うございました。

おかげを持ちまして、当基本計画では新庁舎整備の基本方針をはじめ、導入機能や公共施設等の配置プランなどについて、市としての大きな方向性を示すことが出来たものと考えております。

今後の予定としましては、設計業務、建設業務へと移っていくわけですが、当基本計画をきっちり咀嚼した上で、次へと反映させていきたいと思えます。

また、基本計画の中でも示しています、誰もが利用し易い、そして効率的で、防災拠点として機能し得る庁舎、また環境にやさしく、市民が気軽に集い、地域活性化に貢献する庁舎の実現を目指していく所存であります。

そして、私自身の庁舎を整備するにあたっての強い想いではありますが、市のシンボルとなりえる、そういう庁舎を実現したいと思っておりますし、次の半世紀をしっかりと支えていく、子や孫が誇りに思える、そういう庁舎にしたいと思っております。

市民検討委員会の皆様、本日が最終日ということですが、委員各位におかれましてはどうか検討委員会終了後も引続き、ご支援、ご協力をお願いしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

(委員長)

これを持ちまして、洲本市新庁舎建設等市民検討委員会を閉じさせていただきます。

有難うございました。

終了